

平成 30 年教育福祉委員会会議録

1. 招集年月日 平成 30 年 2 月 7 日
2. 招集の場所 可児市役所 5 階第 1 委員会室
3. 開 会 平成 30 年 2 月 7 日 午前 8 時 56 分 委員長宣告

4. 審 査 事 項

協議事項

1. 委員会代表質問について
2. 会期前委員会の議題について

その他

1. 委員会視察について

5. 出席委員 (7名)

委 員 長	伊 藤 壽	副 委 員 長	田 原 理 香
委 員	亀 谷 光	委 員	富 田 牧 子
委 員	山 田 喜 弘	委 員	天 羽 良 明
委 員	出 口 忠 雄		

6. 欠席委員 なし

7. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局 議会総務課長	松 倉 良 典	議会事務局 書記	服 部 賢 介
議会事務局 書記	山 口 紀 子		

○委員長（伊藤 壽君） それでは、皆さん、おはようございます。

急遽開催ということで、お集まりくださいますありがとうございます。

先般の豊田市、豊橋市の視察は御苦労さまでした。ありがとうございました。

それでは、ただいまから教育福祉委員会を開催いたします。

レジュメに沿って行っていきたいと思います。

協議事項、最初に委員会代表質問についてということですが、これは視察の中で一部の委員からお話がありましたので、これについて協議をしたいと思います。

御意見がありましたらよろしくお願いします。

○委員（天羽良明君） やはり今回、このテーマで代表質問を委員長なりにしていただければ、かなり当委員会としては議会も含めて、あとは保護者、お子さんたちにとってもいい質問になるんじゃないかと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○副委員長（田原理香君） まず何といっても、保護者の方々と最近お会いしたんですけど、「ええっ」という、「ええっ」から始まるんです。全く知らなかったという反応です。それで、先日も学校からその説明会があるとかこういうことになりましたという話があって、今のお母さん方のところでは、「ええっ、どうして」と。今回の視察でもいろんなメリット・デメリットを聞いてきましたが、今後のことをどうするのか、成績表はどうなるのとか、学力は低下しないのとかと、いろんなことが、大体私たちがこれまででも疑問に思うこと、不安に思うことが、当然お母さん方の中でもお話し合いが、LINEがとにかく飛び交っているそうです。本当に飛び交っているそうです。

そういう現場の声をちゃんと、私もここに視察報告の所感にも書きましたけれども、本当に学校の現場、先生方とはやりとりをされているということを知りましたけれども、まず生徒、それから保護者、地域の声ということ、2学期制にすることでやっぱり十分な議論を積み上げていくということを持っていてもよかったんじゃないかと。なぜこんなに急ぐ必要があったんだろうかということの経緯も聞かなきゃいけないし、まずそれが一番大事なことで、ちょうど代表質問には地域の方々、保護者の方々の現場の声、それから私ども委員会がきちっと子供を育てるということにおける姿勢もきちっと示せるいい機会じゃないかなと思って、代表質問はぜひ頑張ってくださいと思います。

○委員長（伊藤 壽君） ほかに御意見がある方。

○委員（富田牧子君） 私もやっていただきたいんですけど、2学期制に4月からするというそのもの自体は、覆すことはできないというふうには思いますけど、やっぱり今の議論の中で欠けている視点について、きちっと当委員会として視察で学んだことを含めて提起をして、本当にこれはどうなのかということ、2学期制をやるなら2学期制をやるで、もう少し制度の中身を充実させるようにということで、足らない視点についていろいろ質問することは大変意義があるというふうには思いますので、私も書きましたけど、10月にちょっと聞いて、それで山田委員が12月定例会で質問してくださった。それだけで、あと何も説明もな

い。こんなことでいいのかということはずごく思うんですよ、本当に。だから、やっぱりいろんなところが見えてきましたので、私たちも視察に行つて、それについて質問して、担当部局にもっと計画をしっかりと練っていただきたいということで質問していただきたいです。

○委員長（伊藤 壽君） ほかに御意見。

○委員（山田喜弘君） 議会に対しては本当に突然というぐらいの2学期制に移行するという話がありましたが、どの程度本当に準備していたのかというのを確認をしてもらいたいなというふうに思いますし、ここにも書きましたけど、大学教授を入れたり地域の方を入れて2年程度は準備をしていたということで教育委員会はしていたかもしれんですけど、そういうのが経過もわからないし、何よりも視察に行つて、子供たちにとってどういう取り組みがいいのかということをごちらの市も言ってみえたので、可児市の子供たちにとってこれをやるのが本当にどういうことがいいことにつながっていくのかということを確認してもらふ意味も含めて、代表質問していただければというふうに思います。

○委員長（伊藤 壽君） ありがとうございます。

○委員（亀谷 光君） 視察は3学期から2学期にすることについて学ぶ思いで行つたんですけども、逆に2学期にしたけどまたもとに戻つたといういろんな経緯を聞きますと、非常に迷うか不安かかなりの時間をかけているんで、その辺のことも含めて、視察の、一旦2学期制にしてまた3学期になると、3学期になるとこうだというようなことも含めて、質問していただきたいと思います。

○副委員長（田原理香君） 今、亀谷委員がおっしゃいましたように、今回の視察、その前に山田委員が質問されて、その後そのままだったんですね。これは私どももちょっと反省することもあったんですけど、改めて今、委員がおっしゃいましたように、本当に豊田市、豊橋市に行つてそれぞれの取り組みをしっかりと聞いたこと、それで自分たちに引き寄せて、可児市に引き寄せてそれがどうなのかということで、ある意味この行政視察というのは本当にためになつたこと、それを議会としてもやっぱり次につなげていく、前につなげていくという意味では本当にいい機会だというふうに思います。

先日、教育長がある行事で御一緒だったので、そんなような話を少し、どうだろうかという話をしましたところ、やはり教育長としてもしっかりとそれについては委員長とやりとりをするという場が設けられるのはよろしいんじゃないかなというようなお言葉もいただきましたので、この機会にしっかりと代表質問でやっていただきたいと思います。

○委員長（伊藤 壽君） それでは、ほかに御意見がございましたらあれですが。

〔挙手する者なし〕

じゃあ、小・中学校の2学期制移行について代表質問をするということで取りまとめてよろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

それにつきまして、またこれだけは質問ということがありましたら、皆さん、事務局を通じてでも結構ですので、私のほうへ出していただければと思います。これに関して正・副委

員長で打ち合わせながら進めていきますし……。

○委員（富田牧子君） せっかくそうやって皆さんが御意見を出されたんで、ぜひ質問してほしいということを、まず皆さんから口頭でお聞きになったらどうですか。また書いて出せて、ちょっと結構大変というか。

○委員長（伊藤 壽君） では、そのように進めますが、よろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

では、これだけはこの質問がございましたら出していただいて、一応正・副委員長で原文をつくりまして、また皆さんには御提示しますけど、きょうの段階でこれだけはこのことがありましたらお聞きして、中に盛り込むということで進めていきたいと思いますので、意見がございましたらお願いします。

○委員（富田牧子君） 最初に行った豊田市が2学期制をやっているというところで、学習の定着をするために、例えば評価を間に1回ずつ入れて結局4回というか、大きい評価2つ、前期・後期の評価2つと、それから中間で評価をするような仕組みをつくってみえましたよね。だから、その中で、やっぱりテスト範囲が本当に長いと、なかなか子供たちに学習を定着させられないという話がありました。特に、国語、算数、こういった教科については。美術とか音楽とか体育とか、そのような教科は長い評価の中でも別段、そのほうがかえっていいような話でしたけれども、基礎学力を養わなければいけない分野については、長い長いテスト範囲というか、広い範囲では、やっぱりやりにくいというふうなことをはっきり言われておりましたので、2学期制であっても評価をまだほかにするというところで、それは考えているのかどうなのかということをお聞きしてください。

もう一点は、やっぱり休みの問題です。子供たちにとって、はい、あしたから後期というふうな切りかえはなかなか難しいわけで、それは大人にとっても難しいですし、こぞっておっしゃっていたのが、3日の休みでは前期と後期の切りかえができないということを書いてみました。そのことはすごく大事で、ここにも2日ぐらい夏休みから持ってきて、せめて5日とかそういうふうで、5日から1週間ぐらいが本当は気分的にはあれですよ。春休みだって短かったりするとそれぐらいとちょっとですから、とにかくそういう気持ちの切りかえをするということは物すごく大事なことで、大人だったらあしたからそうかということがわかるかもわかりませんが、子供には体で理解させるのは難しいので、その点をどう考えているのかということをお願いしたいです。

それから、さっきに戻りますけど、2学期制をやっていたところで評価の問題も言いましたけど、夏休みを本当に有効に使うためには、その中で補習をしたりとか、そういう話もありましたよね。最近はどうも前やっていたような補習ができなくて、ちょっと民間にというか、先生の退職した人とかそういうところ辺に地域で学習をするというふうなことをやっていると言われましたけど、そうやってとにかく夏休みを次の学習につなげる有効なこととしてやってきていたと、豊田市では。でも、豊橋市ではそれがなかったんで、やっぱり私はなかなか学力が伸びなかったんじゃないかというふうに思うんですね。はっきり言われなかつ

たけど、学力テストの関係が絶対あると思うんで、全国で2学期制をやめるといふところは、かなりそのことは大きいと思います。

私は学力テストに賛成じゃないけど、でも、学力が落ちたら何のための2学期制かと思うわけで、本当に子供たちの学力を向上させていくために、どういう手だてを2学期制になったら考えているのかということも聞いてほしいんです。だから、地域でここは補習をやっていたとか言われましたけど、豊田市のほうでは。そんなこと同じようにやれとは言いませんけど、そのことに対してどうなのかと。これだけ考えてやはり2学期制でいきたいという、そういうお話をいただければなと思うんですね。

○委員長（伊藤 壽君） ありがとうございます。

○副委員長（田原理香君） 今、富田委員がおっしゃったのももちろんそうで、とにかく一番私を感じたのは、今の学力の向上と言ったときに、子供たちが頭ではなく本当にやろうという思いというもの、体でやっていくぞというのが、幾ら環境を整えたから、幾ら仕組みや体制ができたから、子供たちがさあやろうというわけではない。そういう意欲というものをどうやってつくっていくんだという、大人だけの机上ではないということの、そこらあたりを本当に聞きたいと思います。そういうことを考えた上で、ここで言うメリット、豊橋市がなぜ2学期制から3学期制にしたのかというその学力、基本の定着だったりとか学習意欲の維持というこのことについて、可児市は今おっしゃったようにどうそれを考えていくかということが一番聞いていただきたいというふうに思います。

そしてもう一つ、何よりもここに至るまで、2学期制を採用するまで、一応山田委員の中では、皆さんから了解を得たということをお返答の中であつたかと思いますが、そんな簡単な言葉じゃなくて、これまでの経緯もあわせて、それからもうちょっと議論をずうっと積み上げていくということに対して、なぜそれを怠っているのかという、そういう否定的な聞き方じゃないにしても、それまでの経緯をいろんな人たちの声を聞きながら積み上げて、それでいろんな危惧することもあわせてやっていかないかんでしようということはお聞きして、それをどう考えるのかということはお本音のところを聞いていただきたいなというふうに思います。

○委員長（伊藤 壽君） ありがとうございます。

ほかにございますか。

○委員（天羽良明君） やっぱり根本的に、私もけさもちょっと市民の方とも意見交換をしてきたわけですが、私の今のところの感覚では、市民の方が聞いた途端に、それはちょっと大人の感覚じゃないかというふうに先に感覚を持たれてしまう。4月からやるという差し迫った状況ですので、本当に子供たちのためだと言い切れるような期間が経られてきたのかどうかということを確認していただくと助かるんですけれども。

○委員長（伊藤 壽君） ありがとうございます。

ほかに御意見はございませんか。

[挙手する者なし]

ないようですので、こうした点を中心に取りまとめまして、また皆さんに提示させていただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

あと、済みません、後先になっちゃったんですが、この1枚に皆さんからいただきました視察の所感がまとめてあります。これも参考にしながらまとめていきたいと。

済みません、申しわけないんですけど、あと若干2名の方が提出されておひりませんので出していただければありがたいというふうにおひいますので、後からでも結構ですでお願ひします。

それでは、委員会として代表質問を行っていくということでおよろしくお願ひします。

それでは次、2つ目の協議題、会期前の委員会の議題についてということ、3月議会は新年度予算の審議が行われるわけですが、前もって予算の概要の抜粋ということ、まだ未定稿ですが、これが配付されましたので、この中から特にあらかじめ聞ひておきたい事業等ございましたら、また時間的な制約もあるかと思ひますけど、調整してまいりたいと思ひますので、もし特段これだけは聞ひておきたいと、説明を受けたいという事業がありましたらお願ひします。

○委員（富田牧子君） 5ページのところ、この介護保険のところの地域支援事業なんですが、かなり減額をされていたりとか、それから新しく認知症の初期集中チームの活動がどうのこのとか、また任意事業の中で家族介護支援事業とか、いろいろちょっと今まで聞ひていないような言葉も入っていますので、ここら辺がどのように変わるのか。介護保険も多分値上げをされるんじゃないかと思ひますが、その金額については結構ですけども、どう変わるのかというか、そこら辺を聞ひたいです、詳しく。

○副委員長（田原理香君） 私も同じく5ページです。

何といっても地域包括ケアシステムというところにおいてです。

大分具体的に、時給700円だったりとかいろんところでもおよそ出てきている、決まっているというふうにお聞ひしました。今どこまで来ているのか、そしてまたそれを、問題は誰が担うのかというところを、その辺を市がどう考えているのかということ、具体的などころもあわせてお聞ひしたいと思ひます。

1つそのときに、お金のこと、その財源のことについて、財政課の方が見えて、これはふるさと納税で、息子さんやお子さんが他県にいる、それをふるさと納税をしてもらうということをお充てたいので、お年寄りの方々にはぜひふるさと納税をしてほしいと、それを財源にするというふうなお話があったそうです。ふるさと納税を当てにしておるんかねというのはわかりません。きちっと私が聞ひたわけではありませんが、財源もあわせてしっかりとお聞ひしたいと思ひます。以上です。

○委員長（伊藤 壽君） 聞ひということをお主眼でお願ひしたいと思ひます。まだ議案としては配られておひりませんので。

ほかによろしいですか。

○委員（富田牧子君） 24ページのところなんですけど、障がい者の話なんですけど、基幹

相談支援センターを開設するということになるようですので、その具体的な内容、業務、どこまでやってもらえるのか聞きたいです、私は。

○副委員長（田原理香君） 新しい事業においては、お話があるということによろしかったですよね。

○委員長（伊藤 壽君） 新しい事業を含めてです。

○副委員長（田原理香君） そうしたら、11 ページにございます子育て支援拠点運営事業についてもお話を聞きたいです。

今回視察で、こども未来館ココニコに行ってきました。子供さんたちが親さんたちと一緒に見えて非常に伸び伸びと遊んでいる、そこの中の遊具施設が非常におもしろくて、なおかつ子供たちもどなたもここへ来てつながれるような、本当にその場その場の対処じゃなくて、その先のことを見越したような遊具施設が置いてある。人と人とがつながれるような場を具体的に見てきて、果たして可児市のこの子育て拠点のキッズルーム、子供たちが遊ぶところにおいてはどういうふうに、遊具もあわせて具体的などころ、どんなことを考えておられるんだろうというところまでもしお聞きできたらなど。もうちょっと具体的などころまでもあわせてお聞きできたらなどというふうに思いました。お願いします。

○委員長（伊藤 壽君） ありがとうございます。

ほかにございませんか。

○委員（亀谷 光君） 今、田原委員のお話の継続ですけれども、未来こども館の館長さんもすごい人だね、あの人。あのエネルギーと優しさはすごい。ああいう人間だからできるかなということを感じました。だから、我々の子育て支援センターができる中にもああいう人材が非常に大事なかなというふうに私なりに思いました。以上です。

○委員長（伊藤 壽君） ありがとうございます。

ほかにありませんか。

〔挙手する者なし〕

なければ以上の点でまとめていきたいと思いますが、私から1つ、国民健康保険特別会計についてちょっと説明を受けたいというふうに思いますので、医療制度は変わりませんが広域になりますので、そのあたりも含めて聞きたいと思います。

あと一つ聞きたいと思ったのは、教育委員会の所管になると思いますが、金山城跡の整備事業について今後どのような進め方か、平成30年度はどうして、その後どうするのかということも聞きたいなというふうに思いました。

その点でまとめていってよろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

それでは確認しますと、私のほうからは国民健康保険特別会計についてと、美濃金山城、それから地域包括ケアシステムでまとめちゃっていいんですか。

〔「いいです」の声あり〕

この進捗状況と、来年度、平成30年度事業、それ以後についてと、そのようなことで説

明を受けたいと思います。

あと、子育て健康プラザの話も出ましたが、これも運営ということで、平成 30 年度運営をどうしていくかということでまとめちゃっていいですか。

〔発言する者あり〕

それから、あと一つは地域生活支援事業でしたかね。それだけです。

以上でまとめていきます。

次回、15 日の教育福祉委員会の際に所管のほうから説明をもらうというようなことで進めてまいりますので、よろしくをお願いします。

それでは、その他で委員会視察がありますが、これも先ほどから意見をいただいた中に含まれていましたので、特に委員会視察でありましたらお願いします。

なければ、以上で本日予定しました協議題は終わりましたが、ほかにありましたらお願いします。

よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

それでは、以上で教育福祉委員会を終了とさせていただきます。よろしくをお願いします。ありがとうございました。

閉会 午前 9 時 22 分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 30 年 2 月 7 日

可児市教育福祉委員会委員長